

夏は、刈払機（草刈機）を使用する機会が増え、事故が多発する時期です。ご注意ください！



(農林水産省資料より抜粋「こうして起こった農業事故IV」)

- (1) 傾斜地では、足場を常に確認する。滑りやすい靴をはかない。
- (2) 保護眼鏡、ヘルメット、安全靴、すねあて、作業手袋(軍手×)等を着用。
- (3) 刃に草や異物が詰まったときはエンジンを停止・バッテリーを外す。
- (4) 周囲に人がいないことを確認。あらかじめ空き缶など異物を取り除く。

★大雨の時は、増水した水路などに近づかないようにしましょう！

人命第一の観点から、大雨、異常出水時は、最新の気象情報を十分に確認し、増水等が治まるまでは、農地や農業用施設等の見回りは行わないでください。

★熱中症に注意しましょう！

MAFF(まふ)アプリを利用すると、スマートフォンに熱中症に関する警告が送信されます。

★MAFF(まふ)アプリのダウンロードはこちらから→



『中国四国「+(プラス)安全min」』とは農業者等が参加する会議、集会、講習会等において、少しの間だけでも時間を割いて農作業安全の話題に触れること。「min」はminutesの略。

令和4年6月29日発行

農林水産省
中国四国農政局

お問い合わせ：生産技術環境課
086-224-4511 (内) 2770
086-230-4249 (夜間直通)

しめよう！シートベルト

毎年、乗用型トラクターの死傷事故が多発しています。ステッカーやチラシを使って、シートベルトの着用を呼びかけましょう。



【ステッカー】

事業所への掲示や機材への貼り付けなどによりご利用ください。こちらからダウンロードできます。



【チラシ】

(公財)交通安全総合分析センターの集計結果(H27~R1)を分析した結果、シートベルトを着用することで死亡事故の発生を大幅に低減することが明らかとなりました。シートベルト着用の効果を周知するチラシ(7種)を作成しましたので、啓発資料としてご使用ください。



その安全フレーム “無駄” になっていませんか?!

もしものとき、安全フレームはシートベルトとセットで効果を発揮します!

安全フレームで安全域を確保

シートベルトで身体を固定

安全フレーム装備率

シートベルト着用率

新車では **100%**

一方で

約 **12%**

これでは せっかくの安全フレームが無駄に!

知っていますか?

安全フレームは、部材の強度や運転席周りの安全空間が確保されているかどうかを検査されています。

トラクターを運転するときはシートベルトを着用しましょう!!

農林水産省